

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

本校では、日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領等に示された教育の目標や内容及び本県の教育行政の方針、さらに宇都宮市民憲章、宇都宮市学校教育スタンダード、陽南地区の教育的・文化的環境、本校生徒の実態等を考慮し、健康で明るく気力に満ちた 21 世紀を担う健全な生徒の育成のために、次の目標を設定する。

- 1 気力・体力・活力に満ちた生徒
- 2 心情豊かで責任感の強い生徒
- 3 自ら学び、創造性に富む生徒

○生徒指標：「よく学び、よく鍛えよ」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

人権尊重の精神を基盤として、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など、変化の激しい社会を生きるために必要となる「生きる力」を確実に身に付けさせる指導に力を入れていく。また、人間力の形成に向けて、全教育活動を通じて、「ほめて伸ばす指導（自己存在感・自己肯定感・自己有用感など自尊感情を育む指導）」の充実を図り、自信と誇りをもって生き生きと学校生活を送る生徒を育成していく。

さらに、義務教育 9 年間を通して児童生徒の能力・態度等を育成していく観点から、小学校との連携を十分に図った小中一貫教育を推進するとともに、本校の伝統でもある地域に根ざした特色ある教育活動を一層推進していく。

こうした教育活動がより効果的に実践されるよう、学校における働き方改革を推進し、業務の効率化や労働時間の適正化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学習指導要領や宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに、生徒の実態や学校・地域の特性を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 生徒の実態をふまえた個に応じた指導など、指導方法や指導体制の工夫・改善を図るとともに、家庭学習を充実させ、生徒一人ひとりの確かな学力の育成に努める。
- (3) 共感的な生徒理解を基盤として、発達の段階に応じた生徒指導の充実を図り、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- (4) 道徳の時間の充実を図り、生徒一人ひとりの道徳的実践力を高めるとともに、読書活動や体験活動を一層推進し、生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- (5) 健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康的な生活を送るための基盤づくりに努める。
- (6) 生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育、進路指導を推進し、社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- (7) 保護者や関係機関等との連携を十分に図り、生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育の充実を図る。
- (8) 陽南地区の児童生徒の豊かな心や確かな学力の育成を目指し、義務教育 9 年間を見通した系統的な指導や教職員の交流、研修会を実施するなど、小中一貫教育の充実を図る。
- (9) よき伝統や教職員の創意工夫を生かしたり、地域の教育資源を積極的に活用したりする教育活動を推進するなど、特色ある学校づくりに努める。
- (10) 積極的な情報提供など家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに、地域協議会の活動の活性化を通して地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。
- (11) 教職員が、生徒と十分かつ適切に向き合う時間を確保するとともに、ワークライフバランスの実現のため、業務の効率化や勤務時間の適正化を図る。

[陽南地域学校園教育ビジョン]

地域に根ざした豊かな心をはぐくむ小中一貫教育 ～子どもの自主的な活動を通して～
テーマ：9 年間を見通したコミュニケーション能力の育成

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- ・学年間の交流を促進し情報交換に努め、学校全体で風通しのよい学校づくりを推進する。
- ・全教育活動を通して、生徒間、生徒・教職員間、教職員間のよりよい人間関係づくりを推進する。
- 地域ボランティアへの参加など地域との連携を図った特色ある学校づくりを推進する。
- 小中学校間で課題の共有を図り、学校園全体で課題解決に取り組む小中一貫教育を推進する。
- ・各種たよりの発行やP T A・地域協議会への情報提供などを通して、家庭や地域との連携を一層深める。
特に、H
Pや一斉メールなど情報機器を活用した情報提供の充実を図る。
- ・I C Tの積極的な活用や部活動の適正な実施など業務の適正化を図るとともに、教職員一人一人のワークライフバランスを実現するため、勤務時間を意識した働き方改革を推進する。

【学習指導】

- ・一人一授業の公開や教科部会の活性化（OJTを含む）を図り、学ぶ意欲の育成や基礎・基本の確実な習得、学習の
評価など学習指導上の諸課題について協議・検討し、教師の指導力の向上を図り、「確かな学力」の育成に努める。
- ・全教科、「学び合う活動」を授業に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力の向上や基礎・基本の定着、思考力・
判断力等の育成に努める。
- 特別の教科「道徳」に対する理解を深め、道徳科の目標を具現化する授業の在り方や評価等について研究を推進す
るとともに、本校の生徒の実態に応じた年間指導計画を作成する。
- 家庭学習の充実に向けた環境作りや具体策について検討し、生徒一人一人の家庭学習の定着を図る。

【児童生徒指導】

- ・教育相談担当、S C M, S C, M S, 家庭, その他関係機関と十分に連携を図った教育相談体制を構築し、
不登校
生徒の減少に努める。
- ・いじめ防止にむけた効果的な取組を意図的・計画的に実践し、いじめの起こりにくい環境を構築する。また、いじ
め調査などの充実を図り、いじめの早期発見・早期対応に取り組むなど指導体制の充実を図る。
- ・問題行動等の発生に対して、学校全体で情報の共有を図り、組織的に対応する体制を一層強化する。（報
告・連絡・
相談の徹底）
- スマートフォンなど情報機器の適切な使用について指導の充実を図り、ネットトラブル等の未然防止に
努める。

【健康（保健安全・食育）・体力】

- 交通ルールやマナーの重要性を理解させる指導に力を入れ、自他の生命の尊重に努める生徒を育成する。
- ・体力の向上や心身の健康の保持増進に心がけ、自ら安全に活動できる生徒の育成に努める。
- 食に関する指導の一層の充実を図るとともに、生徒の健康・安全管理の徹底を図る。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 →生徒の肯定的回答 85%以上	①メリハリのある学校行事の位置付けを行い、生徒の自発的・自治的な活動ができるように指導の工夫を図る。 ②生徒の実態に即した年間指導計画を作成し、学習や行事に取り組む意欲を高める。 ③生徒に自分の生活目標を明確にもたせ、その実現に向けて助言・指導を行い、充実した生活を送らせる。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 →生徒の肯定的回答 85%以上	①常に生徒の声に耳を傾け、適切に学習相談や教育相談を実施し、悩みの早期解決に努める。 ②生徒会活動や部活動の目的を明確にさせ、熱心に指導する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上	①チャイム着席の徹底を図るため、学級委員長や中央委員会が中心になって呼びかけなどの取組を行う。 ②学芸委員会と生活委員会が中心となって生活・学習指標を決めて提示し、生活や学習習慣を改善しようとする意欲を持たせる。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上	○①「家庭学習の手引き」や、「家庭学習の記録」を活用し、家庭学習の充実を図る。 ②「分かる授業」展開のための「見せ合い授業」を行ったり、参観レポートを作成するなど、相互研修を充実させ、個々の授業力を向上させる。 ○③「特別の教科道徳」実施に向けての資料等を充実させる。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上 →保護者の肯定的回答 80%以上	①学校生活の中で、相手の気持ちを考えた言葉遣いや態度を取るよう指導することを通して、人権感覚を高める。 ②いじめのアンケート（年間 6 回）や教育相談の結果を踏まえ、早期発見と再発防止への取組を全職員に徹底するとともに、「生徒指導だより」で保護者に周知する。 ③本校の「いじめ防止対策基本方針」や具体的な取組の様子をホームページや、保護者会などを利用して、保護者に周知し、家庭と連携して対策に取り組む。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 →教職員の肯定的回答 85%以上	①よりよい学校生活にするため、学校行事等の後に教職員及び生徒のアンケートを実施し、改善を図る。 ②毎学期末に生徒に諸活動への取り組みや内容の振り返り（評価）をさせる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 →保護者の肯定的回答 90%以上 →地域の肯定的回答 80%以上	①「うつのみやオープンスクール」を含め、学校公開を学期に 3 回以上実施する。 ②学校便りや学年便りなど各種通信を毎月 1 回程度は発行し、保護者や地域住民に情報を提供する。 ③ホームページ検討委員会を中心に、学校のホームページの更新を随時行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 →保護者の肯定的回答 85%以上 →地域の肯定的回答 85%以上	○①「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効活用して、学校運営の充実を図る。 ○②地域指導者と連携した授業や活動を計画的に実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上	①教育活動に必要な物品の充足度を定期的に確認するなどの活動を通して、生徒の学習に必要な設備や教材の充実を図る。 ②生徒会活動として環境委員会が中心となる「清掃強化週間」を実施する（学期 1 回程度）。 ③清掃分担や清掃方法の見直しを行い、通常清掃を強化する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 →教職員の肯定的回答 85%以上	○①研究授業の参観を各校間で積極的に行う。 ○②共同事務を推進し、業務のスリム化を図る。 ○③小・中間で図書館、給食、保健室の情報を交流し、指導の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上	①SC、MS、かがやきルーム指導員による面談、家庭訪問、学習支援等を実施し、教員の業務縮減を図る。 ②各種会議等において、より専門的知見からの指導助言等を参考に、早期対応やきめ細やかな指導の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。 【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上	①SC、MS、かがやきルーム指導員等と連携を密にし、生徒の状況把握に努める。 ②要支援生徒について、多様な観点からの理解を深めるとともに、指導の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B 1 頼られる学校、信頼される学校を目指して努力している。 【数値指標】 全体アンケート「先生に気軽に相談したり話をしたりすることができる」 →生徒の肯定的回答 80%以上 →保護者の肯定的回答 75%以上	①生徒、保護者、地域からの学校への意見を受け止め、誠実に問題の解決に努める。 ②生徒指導係会の内容を確実に伝えることで情報の共有化を図るとともに、教育相談の研修を通して相談技術の習得に努める。 ③スタンダードダイアリーの指導をととして生徒の思いや訴えを受け止め、適切な指導や相談を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
教育活動の状況	A 13 生徒は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 →生徒肯定的回答 85%以上	①普段の学校生活や授業で正しいあいさつができるよう、教師が進んで範を示す。 ○②生徒会のあいさつ運動を推進させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 14 生徒は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 →生徒肯定的回答 80%以上	①授業や部活動などの場で機会をとらえて、時と場に応じた正しい言葉づかいについて指導をする ②生徒、教職員ともに、人権に配慮した言葉のやり取りができるよう心掛ける。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 2 生徒は、日常において安全な行動に心がけ、生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、交通ルールやマナーに気を付けて登下校している」 →生徒肯定的回答 80%以上 →教職員の肯定的回答 80%以上	①「交通安全教室」「薬物乱用防止教室」を実施するとともに、他の教育活動との関連を明確にして指導する。 ○②地域学校園児童・生徒指導部会で、交通ルール指導に関する共通理解を深め、小学校と連携しながら指導に当たる。 ③登下校指導を実施し、交通ルールの順守を繰り返し指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 15 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 →生徒肯定的回答 80%以上	①授業や部活動等において、新体力テストの結果を活用し、体力作りを行う。 ②昼休みには、校庭に出て運動することを奨励するとともに、放課後は部活動に積極的に参加させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 16 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 →生徒肯定的回答 80%以上	①給食便りと保健便りを月 1 回以上発行し、生徒・保護者への食の大切さや生活習慣の見直しについて啓発する。 ②「おべんとうの日」を実施し、食について考えさせる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 3 健康に配慮し疾病の予防に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は食事の前に手洗い・うがいをしている」 →生徒肯定的回答 90%以上	①保健委員会の活動として、広報紙発行や放送での衛生面の呼びかけ等を行い、意識の啓発を図る。 ②保健委員会を中心に毎月保健チェックをして、歯ブラシやハンカチの検査をし、衛生面に関する意識の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

学 習 等	A17 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 →生徒肯定的回答 80%以上	○①全教科で「学び合う活動」を授業に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力(発表力・発言力)の向上を図る。 ②生徒のよさや努力したことを認め、励ますことによって、生徒の学習意欲を喚起する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A18 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 →生徒肯定的回答 80%以上	①朝の全校読書を充実させ、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組む習慣を身に付けさせる。 ②落ち着いた学習環境づくりに向けて学芸委員会を中心に取組を行い、望ましい環境の中で学習ができるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A19 生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 →生徒肯定的回答 80%以上 →地域肯定的回答 80%以上	○①学校や生徒会、PTA、地域が連携して地域行事や環境美化活動への参加を積極的に推進する。 ○②ボランティア活動の様子や、生徒の振り返りを、掲示物等で生徒に周知し、意識の共有化と高揚を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B4 生徒は、望ましい社会的態度を身につけて将来に生かそうとしている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、思いやりの気持ちを持ち、協力して集団活動に取り組んでいる」 →教職員の肯定的回答 80%以上	①学級活動や道徳教育の充実を図り、個人や社会の一員としてのあり方を身につけさせる。 ②各学年行事(冒険活動教室・社会体験学習・修学旅行)において、適切な言動が取れるよう指導するとともに、社会性スキルを身につけさせる。	【達成状況】 【次年度の方針】
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	B5 生徒は、自主的・自治的活動に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、学校行事や部活動に意欲的に参加し活動している」 →生徒の肯定的回答 90%以上 →教職員の肯定的回答 80%以上	①学校行事や部活動において、生徒が自主的・自治的に参加できるよう企画・運営を工夫する。 ②各委員会や行事の実行委員会、部活動におけるリーダーの育成に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。